

本物のデニム生地を表面材とした、置敷きビニル床タイル「デニムフロア」が 2018年度グッドデザイン賞を受賞

田島ルーフィング株式会社(本社:東京都千代田区/代表取締役社長:田島国雄)の「デニムフロア」がこのたび [2018年度グッドデザイン賞] を受賞しました。

(主催:公益財団法人日本デザイン振興会 <http://www.g-mark.org>)



経年変化前・変化後の使用イメージ

■名称: デニムフロア

■概要: 「経年変化を楽しむという新しい価値観」

「デニムフロア」は、インディゴ染料で染められたデニム生地を置敷きビニル床タイルの表面材としています。そのため、ジーンズを履きこなすように、歩行の経年変化によりデニム生地表面の色が少しずつ変化し、ユーザー独自の使用感を楽しんでいただくことができます。

今回の受賞においても、「従来の建築仕上げ材の多くが実現できなかった、劣化ではなく経年変化を楽しむという新しい価値観を商品に結実させた点」が評価されました。

表層のデニム生地は、世界有数の国産デニムメーカーであるカイハラ社で生産されたものを採用しています。

■品番: DML-101

■サイズ: 5.0mm(厚さ)×500mm×500mm

■価格: 15,000円/m²

(材料価格のみ。施工費用、消費税は別途)

■資料等につきまして:

当社ホームページでは、デニムフロアの見本帳・カタログなどがお取り寄せできるほか、画像のダウンロードも可能です。

田島ルーフィング <https://www.tajima.jp/>



グッドデザイン賞受賞展

「GOOD DESIGN EXHIBITION 2018」のご案内

<http://www.g-mark.org/gde2018/>

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。

国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞で、受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

